



平素よりデルタ航空をご利用いただき誠にありがとうございます。デルタ航空では、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、お客様と乗務員の安全な環境を確保するために、さまざまな予防対策に取り組んでいます。その取り組みについて、日本支社長 大隅ヴィクターと日本地区 空港本部 本部長 田中勇三よりご説明いたします。



デルタ航空
日本支社長

大隅 ヴィクター

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中で日常生活や働き方の変化を余儀なくされる日々が続いております。1日も早い感染の終息を願うとともに、皆様のご健康を心よりお祈りしております。

デルタ航空では、本年3月末から東京と米国間の運航を羽田空港に集約し、全7路線の運航を開始する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染予防と政府の渡航制限により、運航スケジュールを大幅に変更いたしました。7月は、需要

の回復に応じて6月よりも全体で約1,000便増便し、日米間については羽田-シアトル線に加えて羽田-トロント線を追加します。8月にはさらに、羽田-ロサンゼルス線と羽田-アトランタ線を追加運航する予定です。今後の感染状況や政府の渡航制限、需要動向を見ながら、引き続き運航路線や便数の検討を続けていきます。

デルタ航空では、常にお客様と従業員の安全と健康を最優先に考えております。そのため、業界最高水準の安全と清潔さの基準「デルタ・ケア・スタンダード」を設定し、機内および空港内でお客様が触れる場所を入念に消毒しています。また人との間隔を保つために、3席配列の中央席をブロックしているほか、客室ごとに座席使用率の上限を設け、これを2020年9月30日まで継続する予定です。

このように空港では、安全対策を強化し、お客様をお迎えるための体制を整える一方で、機内サービス部では、機内食用の食品や飲料を

日本各地のフードバンクや、地方自治体、病院などに寄付しております。賞味期限切れによる食品ロスを減らすことが目的ですが、寄付先からはたくさんの感謝の言葉をいただいております。

デルタ航空では、一時的ではなく長期的な観点からさまざまな安全対策を講じ、安心してデルタ航空をお選びいただけるよう日々努力を



続けています。このような取り組みについては、delta.comやデルタプロなどを通じて随時情報を発信しています。かつてない厳しい環境のなか、日本支社の従業員一同、万全の体制を整えてお客様のご搭乗をお待ちしております。



デルタ航空 日本地区
空港本部 本部長

田中 勇三

デルタ航空空港チームは2020年3月29日より、72年前に初めて日本の地に翼を下ろした羽田の地に帰り、気持ちを新たに安全運航に毎日取り組んでいます。そして、このコロナパンデミックの渦中において、お客様の安全、従業員の安全を最優先事項として、あらゆるサービスの見直し、改善に努めています。これを「デルタ・ケア・スタンダード」と呼び、お客様へのご案内、従業員への徹底を図っています。「デルタ・ケア・スタンダード」では3つのキーワードを

中心に、多くの改善に取り組んでいます。それが次の3つです。

1. Cleanliness

あらゆる場面での清潔、清掃の徹底

2. More Space

あらゆる場面でお客様同士の適正な距離を確保すること

3. Safer Service

より安全なサービスを提供する工夫



羽田空港のチェックインカウンター

この3つのキーワードをもとに日々、独自に改善を重ねるとともに、医療関係者の方々からの助言もいただいています。CDC（アメリカ疾病予防管理センター）はアトランタに本部があり、アトランタ空港の視察をしてもらっています。羽田空港においても医療機関に協力要請をしており、プロの立場からの助言をいただいています。**Cleanliness**ではデルタの全出発機を手拭き作業による消毒に加え、多くの認定機関から承認を得た消毒液を、静電スプレーを使って手拭き作業だけでは難しい隙間まで完全な消毒を施しています。また**More Space**ではお客様の実際に搭乗される数に客室ごとの上限を設けて、お隣の席を空けるようにするなど、空港、機内のどこの場面においてもより安全な空間を確保しております。

デルタの現場はSafety/Cleanに万全の体制で、職員一同、お客様のお越しを空港でお待ち申し上げます。

安全なご旅行のためのデルタ航空の取り組み

中央席の予約をブロックし、
客室ごとに座席使用率の上限を設定

デルタ航空では、安全なご旅行のために十分なスペースを確保するための取り組みを継続し、2020年9月30日まで、中央席をブロックし、客室ごとに座席使用率に上限を設けています。



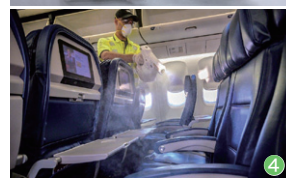
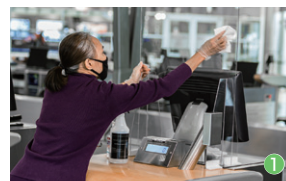
座席の使用率を、米国内線のファーストクラスで50%、メインキャビン、デルタ・コンフォートプラス、デルタ・プレミアムセレクトで60%、デルタ・ワンでは75%に設定することで、各便に搭乗するお客様の総数を減らし、より広いスペースを確保します。

Fly Deltaアプリやオンラインで座席指定をする際は、すべての中央席が画面上で選択不可となります。また需要の増加により、座席使用率の上限に達する路線では、大型の機材に変更、もしくは便数を増やして対応します。

新型コロナウイルス感染症予防のためのデルタ航空の取り組み

チェックインからバゲージクレームまで、より安全なご旅行を提供するためにさまざまな施策を実施しています。新型コロナウイルスが収束した後も、長期的に新しい衛生基準を遵守していきます。

- ご旅行中の安全を守るため、お客様と従業員にフェースカバーの着用を要請。
- デルタ航空のチェックイン・カウンター、デルタ スカイクラブ、搭乗ゲートのカウンターに、アクリル製の仕切り板を設置。—①
- チェックイン・ロビー、デルタ スカイクラブの入り口、搭乗ゲート、ボーディング・ブリッジには、お客様の間隔を保つための誘導シールを貼付。—②
- デルタ航空が保有する多くの航空機でウイルスなどの粒子を99.99%以上除去する業界標準のHEPAフィルターを装備した最先端の空気循環システムを使用。
- お客様同士がすれ違う機会を減らすため、すべてのフライトで後部座席から前方に向けて順番に搭乗。
- 接点を減らすためお食事と飲み物の機内サービスを簡素化。
- 消毒用ハンドジェルやマスクが入ったケアキットを必要なお客様に提供 —③
- すべての乗り入れ空港で、コロナウイルスを含む多くの感染症に効果的とされる高品質の消毒剤を使用して、静電スプレーにより航空機の客室を床から天井まで、従業員やお客様が頻繁に触れるシート、シート背面のスクリーン、アームレスト、トレイ・テーブル、ドア、トイレ、ギャレーなどを徹底的に消毒。—④



7月の運航状況

経済の回復と渡航制限の緩和に伴い、デルタ航空は7月、人気の高い夏のレジャー市場や主要なビジネス市場へのノンストップ便の運航を再開し、路線全体で約1,000便を追加します。7月の日本発着便の運航状況は下記のとおりです。

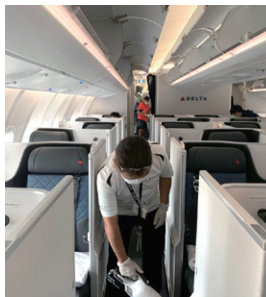
対象路線	期間	運航状況
羽田	シアトル	7月 週4(日本発:火木土日/米国発:火木金日)
	デトロイト	7月 週3(日本発:月水金/米国発:月水土)
	ロサンゼルス	7月 運休
	アトランタ	7月 運休

羽田-ミネアポリス/ポートランド/ホノルル、名古屋-デトロイト/ホノルル、関空-シアトル/ホノルルは夏期スケジュール期間(日本発10月24日、米国発10月23日まで)運休します。

※新型コロナウイルスに伴う特例措置を日本語で検索できるようにしました。予約を変更する際に**該当する特例措置を簡単に検索できる機能**と、現在有効な**特例措置の一覧表**が日本語でご利用いただけます。

羽田空港スタッフによる
機内清掃ボランティアを実施

5月31日にデルタ航空の羽田空港のスタッフ約20名のボランティアが、機内清掃体験をしました。シアトルから到着したデルタ航空167便において、清掃スタッフとともにシートやギャレーなどを、業界最高水準の安全と清潔さの基準「デルタ・ケア・スタンダード」に従って、清掃、消毒しました。これは、機内清掃体験を通じて



クリーニングの大変さや大切さを理解し、空港施設や機内の清潔さの向上に役立てるために行われました。

デルタ航空最新情報ウェビナーの実施

チェックインおよび手荷物預かり

お客様の安全と安心のための取り組み、デルタ航空ではより安全な環境作りが実現しています。チェックインの場から実施している、より安全なフライト体験のための取り組みについて、詳しくご覧ください。

- ① デルタ航空の機内では、最新のHEPAフィルターを備えた最先端の空気循環システムを使用しています。
- ② 搭乗ゲート、チェックインカウンター、搭乗ブリッジには、お客様の間隔を保つための誘導シールを貼付しています。
- ③ デルタ航空の機内では、最新のHEPAフィルターを備えた最先端の空気循環システムを使用しています。
- ④ デルタ航空の機内では、最新のHEPAフィルターを備えた最先端の空気循環システムを使用しています。
- ⑤ デルタ航空の機内では、最新のHEPAフィルターを備えた最先端の空気循環システムを使用しています。
- ⑥ デルタ航空の機内では、最新のHEPAフィルターを備えた最先端の空気循環システムを使用しています。
- ⑦ デルタ航空の機内では、最新のHEPAフィルターを備えた最先端の空気循環システムを使用しています。
- ⑧ デルタ航空の機内では、最新のHEPAフィルターを備えた最先端の空気循環システムを使用しています。

6月より契約企業様、旅行会社様に向けて、デルタ航空の新型コロナウイルス感染症予防のための安全への取り組みや運航状況などを紹介するオンラインでのセミナーを順次開催しています。ご希望の方は担当営業までお知らせください。

医療現場で働く人々や援助を必要とする人々を支援するため、機内で使用しなくなった食品を地域社会に寄付

デルタ航空は、新型コロナウイルス感染予防対策として実施している機内やラウンジのサービスの簡素化により賞味期限内に提供しきれなくなった食品などを地域社会に寄付しています。2020年4月17日までに、約90トンの生鮮食品を、全米のフィーディング・アメリカの支部やジョージア州のフード&リソースセンター、ミズーリ州のカルタゴ・クライシス・センターに寄付。

日本では、オレンジジュース(約2万本)、緑茶のペットボトル(約2万4千本)などを、各地の医療機関8施設、フードバンク45団体、社会福祉施設関連の26団体に寄付しました。



成田赤十字病院に寄付しました。

スカイマイル メダリオン資格の延長

デルタ・スカイマイル・プログラムのメダリオン会員に対し、2020年と同様の会員特典を2021年末まで自動的に延長しています。2020年に獲得するメダリオン資格マイル(MQM)は、2021年に繰り越され、2022年のメダリオン会員資格を得るためのMQMとして換算されます。12カ月間の会員資格の延長は、新型コロナウイルス感染拡大のなかで、より柔軟な対応を提供するデルタの取り組みの一環です。